

保護者の皆様

枚方市立長尾小学校
校長 山中 昌生

令和2年度学校教育自己診断の結果のお知らせ

厳寒の候、保護者の皆様方におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。平素より学校教育にご支援・ご協力を賜りありがとうございます。

12月に実施いたしました学校教育自己診断アンケートに、ご協力ありがとうございました。結果についてお知らせいたします。また、この結果を基にこれからの学校運営や学習指導等に活かしていきます。今後とも、本校学校教育についてご理解、ご協力をお願い致します。

① アンケート回収率

児童アンケート 95.0%
保護者アンケート 85.4% 昨年比 2.3ポイントアップ

②結果と分析

表について

学校自己診断アンケートは、A：よくあてはまる・B：あてはまる・C：あまりあてはまらない・D：まったくあてはまらない の4段階で評価をいただきました。各項目の結果については、○：A+Bで肯定的な意見、△：C+Dで否定的な意見として集計しました。また、昨年度と同じ内容項目については肯定的意見の昨年度比も提示します。

(○○アンケート○)

アンケート項目		
○	A+B (肯定的意見)	○昨年度比 (%)
△	C+D (否定的意見)	

アンケートの対象者です。○の数字はアンケート番号です。

昨年度のデータがないときには、×をつけています。

(1) 学校生活について

(児童アンケート①)

(保護者アンケート①)

学校に行くことは、楽しい		
○	82.6%	昨年度比 +1.1P
△	17.1%	

子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。		
○	83.2%	昨年度比 -0.8P
△	16.8%	

「学校に行くことは楽しい」については、保護者、児童ともに8割以上の肯定的回答をいただきました。児童、保護者両方についてほぼ昨年度並みの肯定的回答でした。引き続き、より多くの児童が楽しいと感じることのできる学校作りに努めていきます。

今年度、コロナ禍で、学校の存在について考えることが多々ありました。人権教育や道徳教育を要に、教育活動全体で、子どもにとって居心地のいい、優しい学校にし、児童全員に学校が楽しいと思えるように努めていきます。

(児童アンケート②)

落ち着いた雰囲気です。		
○	78.5%	昨年度比 (%) +6.3P
△	20.1%	

(保護者アンケート②)

学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業している		
○	87.9%	昨年度比 (%) +16.4P
△	12.1%	

児童、保護者のアンケートとも、肯定的な回答が増しました。授業規律を確立させ、児童にとって学習に積極的に取り組めるような環境づくりをしていくためにも、児童理解に努め、授業力を高めることにさらに努めます。また、児童の様子を学校と家庭とで共有することが必要であると感じています。

(児童アンケート⑦)

授業はわかりやすい。		
○	90.4%	昨年度比 (%) +6.1P
△	9.4%	

(保護者アンケート⑦)

先生は、分かり易い授業づくりをしている。		
○	93.1%	昨年度比 (%) +1.6P
△	3.4%	

児童、保護者とも昨年度よりも高く、9割を超える肯定的な意見を頂きました。教員にとって、分かり易い授業を実施することは一番大切な仕事であるとともに、子どもにとって学校が好きか嫌いかを分ける重要なポイントであると考えています。来年度も、更に授業研究を進め、「みんなが分かる授業」を目指していきます。

(児童アンケート④)

先生は子どもの意見や考えを大切にしてくれる。		
○	94.2%	昨年度比 ×
△	5.8%	

(保護者アンケート④)

先生は、子どもの考えを大切に授業している。		
○	93.1%	昨年度比 (%) +2.2P
△	5.2%	

(児童アンケート⑨)

授業で自分の考えを言うときがある。		
○	72.2%	昨年度比 -6.6P
△	26.4%	



児童・保護者ともに肯定的な意見が9割を超えています。本年度から実施されている学習指導要領では児童が「主体的」で「対話的な」授業で「深い学び」ができる授業に取り組むことになっています。児童の意見や考えを言える場づくりが必要となります。

しかし、子どもたちが考えを言ったという数値は、72.2%と低い数値になっています。多くの児童が意見を言えるような授業づくりを進めていきたいと思えます。

(児童アンケート③)

先生は、より良い学級を目指して工夫している。		
○	95.0%	昨年度比 (%) +6.7P
△	4.7%	

(保護者アンケート③)

先生は、より良い学級を目指して工夫している。		
○	94.8%	昨年度比 (%) ×
△	3.4%	

児童・保護者ともに9割を越える肯定的な意見が得られました。また、昨年度よりも増加しました。

教員の仕事を行う上で大切なことは児童理解です。日々の学校生活の中で、児童と多くの機会にふれあうことで児童理解に努め、子どもたちとの信頼関係を構築していくことが生徒指導の基本だと考えます。また、学習指導の面でも児童理解に基づいた授業づくりを大切にしていきます。

(児童アンケート⑤)

(保護者アンケート⑤)

先生は、適切にほめたり叱ったりしてくれる。		
○	92.0%	昨年度比 (%) +6.1P
△	7.7%	

子どもを効果的にほめたり叱ったりしている。		
○	91.4%	昨年度比 (%) +5.7P
△	5.2%	

児童、保護者ともに90%以上の肯定的意見がありました。また、昨年度より肯定的意見の数値が増えています。タイミングよく具体的にほめることで、子どもたちの力はぐんと伸びると考えています。今後も児童の良いところはほめ、注意すべきところはしっかりと注意できるメリハリのある指導を行っていきます。また、そのために、児童理解を深め、個に応じた指導ができるように努めます。

(児童アンケート⑥)

(保護者アンケート⑥)

先生は相談にのってくれる。		
○	88.4%	昨年度比 (%) +3.9P
△	10.5%	

先生は、子どものことで相談に応じている。		
○	91.4%	昨年度比 (%) +5.7P
△	5.2%	

児童、保護者ともに、肯定的意見が増加しました。児童理解に努め、いつでも、どこでも、児童が気楽に相談に応じることのできる教員集団を目指します。

(2) 学習について (授業を含む)

(児童アンケート⑪)

(保護者アンケート⑧)

ICTを使った授業がある。		
○	87.9%	昨年度比 (%) -1.2P
△	11.8%	

子どもはICTを使った授業があると言っている。		
○	98.3%	昨年度比 (%) +22.4P
△	0.0%	

今年度、全校児童にタブレット端末を配布(貸し出し)しました。教室で個人のタブレットを操作し、調べたり、ドリルをしたり、メモを取ったりする機会が増えています。ICTの特徴を活かしながら、授業のどのような場面で使うことが効果的なのかを研修し、子どもたちの学力向上に活用していきます。

また、タブレット端末の使い方の指導と同時に情報モラルについても学習する機会をつくり、ご家庭とともにSNS等のもつ危険性を学ばせる必要を感じます。

(児童アンケート⑧)

(児童アンケート⑩)

授業では、めあて(目標)が示されている。		
○	93.9%	昨年度比 (%) +3.1P
△	5.8%	

授業で話し合う活動が行われている。		
○	93.9%	昨年度比 (%) +4.8P
△	5.2%	

(児童アンケート⑬)

授業の最後に振り返る活動を行っている。		
○	94.2%	昨年度比 (%) +3.2%
△	5.5%	



授業を進めるにあたって、「授業の始めに目標を示し、学習活動の中に話し合う活動を取り入れ、時間の最後には振り返りを行う」という枚方市の授業スタンダードの実施については、90%を超える肯定的意見をいただきました。

(児童アンケート⑭)

授業を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりすることがある。		
○	77.4%	昨年度比 (%) ×
△	22.3%	

(児童アンケート⑮)

文に書くことで、発表に自信がもてている。		
○	60.9%	昨年度比 (%) ×
△	37.7%	

指導要領における「対話的な学び」とは、他と話し合い、自分とは違う考えに触れることで、考えが変わったり、自分の考えの確かさを確認することと考えています。しかし、自分の考えの深まりを感じる児童は少なめになっています。今後、話し合い活動から深い学びを感じられるような授業を目指します。

また、今年度、本校の研究課題の一つは「書くことを発表につなげる」でした。文に書くことで、発表に苦手意識のある児童が積極的に発表するようになるだろうとの仮説を立てました。6割の児童が肯定的に感じてくださいました。残りの4割の児童にも発表することの喜びを感じさせたいと思います。

(3) 家庭との連携について

(児童アンケート⑯)

学校HPやブログ、学校だよりを見ている。		
○	35.3%	昨年度比 (%) +4.6P
△	63.1%	

(保護者アンケート⑨)

学校HPやブログを見ている。		
○	37.9%	昨年度比 (%) +8.3P
△	62.1%	

学校ホームページやブログの閲覧について、数値は低いものの肯定的な意見が増しました。学校の様子を分かりやすく、早く伝えるためにも、ホームページやブログの更新に努めますので、今後も、保護者の皆さんや地域の皆さんに学校を知っていただけるように努めていきます。

緊急の連絡の際は、ミルメールを使用します。可能な限り登録をお願いします。(1年更新ですので、来年度の登録については、改めて年度が明けてから連絡します)

(4) 学校運営について

(保護者アンケート⑰)

学校は、保護者や地域の願いに応じている。		
○	86.2%	昨年度比 (%) +4.6P
△	12.1%	

(保護者アンケート⑱)

学習環境は充実している。		
○	84.5%	昨年度比 (%) +13.4P
△	13.8%	

(保護者アンケート⑬)

学校は、個人情報を守っている。		
○	96.6%	昨年度比 (%) +5.5P
△	1.7%	

(保護者アンケート⑭)

学校は、感染症対策を適切に行っている。		
○	87.9%	昨年度比 (%) ×
△	12.1%	

学校運営について、どの項目も肯定的意見が増しました。ご意見には、「トイレをきれいにしてほしい」という要望がたくさんありました。教育委員会に毎年のように要望としてあげています。現状での対策として日頃からの清掃員の掃除以外にも、長期休暇には、教員によるトイレ掃除を行っています。

新型コロナウイルス感染症予防対策については、手洗い、マスク着用、換気を軸に実施しています。給食時の感染症対策にご心配の声もありますが、飛沫が飛ばないように配慮しながら実施しています。まだまだ予断を許さない状況が続いていますので、一層の感染症対策に取り組みます。

(5) 食育について

(児童アンケート⑭)

学校で、食べることの大切さを学んでいる。		
○	91.2%	昨年度比 (%) +8.6P
△	8.0%	

(保護者アンケート⑨)

子どもは、学校で食べることの大切さを学んでいると言っている。		
○	81.0%	昨年度比 (%) +6.9P
△	19.0%	

児童、保護者とも肯定的意見の数値が増しています。近年、健康教育の一環として「食育」の大切さがクローズアップされています。本校では栄養教諭が中心になって各教科の中で食育の指導をしています。学校と家、両方で食に関しての話をすることで、子どもたちの食に対する関心も高まるのではと思います。毎月発行しています「給食だより」や「食育だより」もご覧ください。

(6) 家庭学習について

(児童アンケート⑮)

宿題を忘れずにできる。		
○	84.3%	昨年度比 (%) +0.9P
△	16.6%	

(保護者アンケート⑮)

子どもは宿題を忘れずにしている。		
○	89.7%	昨年度比 (%) +6.3P
△	10.3%	

宿題は、必要最低限度の家庭学習です。計算ドリルや漢字の書き取りなど、繰り返し勉強することで、学校で習った事項の学力の定着をねらっています。本来であれば、子どもたちが積極的にするものですが、習慣化していない児童については、ご家庭の方でもご指導ください。今後は、従来からのプリント学習だけでなく、タブレットを使ったドリル学習も課題としていきます。

この項目はぜひ100%となるように、学校と家庭が連携して取り組みましょう。

(児童アンケート⑯)

家で学校の授業の復習をしている。		
○	49.6%	昨年度比 (%) -2.9P
△	49.0%	

(保護者アンケート⑯)

子どもは家で学校の復習をしている。		
○	29.3%	昨年度比 (%) -7.8P
△	70.7%	

(児童アンケート⑭)

家で、自分で計画を立てて勉強している。		
○	58.1%	昨年度比 (%) -1.5 P
△	41.3%	

(保護者アンケート⑲)

子どもは、家で計画的に学習している。		
○	39.7%	昨年度比 (%) -8.5 P
△	60.3%	

ふだんの日に、学校の授業以外で1時間程度勉強している(塾など含む)。

○	58.4%	昨年度比 (%) ×
△	38.9%	

家庭での自主学習の項目です。復習をしている児童はほぼ半数です。自主的に学習を進める態度が、今後の教育には必要不可欠になってきます。そのためにも、復習や自主学ノートにも力を入れていきたいところです。学校では、授業の振り返りの際に、次に勉強し

たいこと、調べてみたいことをまとめる時間を作り、自主的な学習を進んでできるように取り組んでいきます。また、タブレットを活用してのドリルや調べ学習なども各自が家庭でできるように、取り組んでいきます。

7) 自分自身のこと

(児童アンケート⑳)

自分のことが好きだ。		
○	55.5%	昨年度比 (%) -0.9 P
△	43.6%	

(児童アンケート㉑)

学校のきまりを守っている。		
○	86.5%	昨年度比 (%) +2.8 P
△	13.2%	

(児童アンケート㉒)

本を読むことが好きだ。		
○	73.8%	昨年度比 (%) +3.2 P
△	25.3%	

(児童アンケート㉓)

トイレのスリッパをきれいに並べるようにしている。		
○	84.5%	昨年度比 (%) +6.4 P
△	14.1%	

(児童アンケート㉔)

あいさつを自分からしている。		
○	77.9%	昨年度比 (%) +3.8 P
△	20.7%	

児童自身の振り返りです。自分の良さを感じることを自己肯定感と言いますが、色々な意味で力が伸びる可能性が高いのは、自己肯定感の高い児童です。子ども達は、自分ががんばったことを認められるこ

とで、自己肯定感が高まり、自信もついてきます。タイミング良くほめてあげてください。「がんばれ！」ではなく「がんばってるね」の一言が必要です。

「本を読むことが好きだ」は肯定的な意見の数値は伸びました。読むことは学習の基本となりますので、更に本を読むことが好きな児童を増やしたいと思います。国語の時間には並行読書の取組も取り入れ、また、学校司書の先生の指導による図書委員会の取組も進めています。ご家庭でも、子どもと一緒に本を読む時間を作ったりして、本を読む習慣づけにぜひともご協力をお願いします。

「トイレのスリッパ」は、一昨年からの項目です。「次の人のためにスリッパをきれいに並べて脱ぐ」という当たり前のことを指導しています。このことは人権教育の根っこになることだと思っています。昨年度より肯定的意見の数値が伸びています。今後は是非とも肯定的意見が更に伸びてほしい項目です。

あいさつの項目も昨年度からの項目です。朝、正門で立っていると、元気に挨拶する児童もいますが、ちらつと顔を見るだけであいさつできない子や知らない顔の子もいます。挨拶は人間関係づくりの基本となるものですので、是非ともできるようになってほしいです。まず、お家で「おはようございます！」を元気に挨拶できるようにしましょう。

8) タブレット端末のこと (アンケートは6年のみ対象)

(児童アンケート⑳)

(保護者アンケート㉑)

家庭学習でタブレットを使っている。		
○	61.1%	昨年度比 (%) ×
△	38.9%	

子どもは、家庭学習でタブレットを使っている。		
○	87.9%	昨年度比 (%) ×
△	12.1%	

(児童アンケート㉒)

授業でタブレットを使っている。		
○	100.0%	昨年度比 (%) ×
△	0.0%	



6年生にタブレットを配布して約3か月程度が経過していますが、ほとんどの児童がタブレットを使いこなしているようです。授業観察中でも、児童の方から「それ、タブレットを使ってもいい？」という質問がとんできます。ただ、タブレットはあくまで学習ツールの一つだと考えています。使うことが大切なのではなく、上手に活用することが大切であると思います。

家庭との連絡に Google Class Rome を使用することもあります。子どもたちやご家庭と学校との双方連絡に使用しています。児童がタブレットを家に持ち帰った時に、子どもたちが適切な使用をしているかも見て頂きたいと思います。

(6) 家庭学習の欄でも書きましたが、自ら学習できる姿勢が学力を伸ばす推進力になると思います。家庭でのタブレットの活用にその力の伸びを期待しています。

アンケート項目以外にも自由記述で皆さんのご意見を伺えました。学校への励ましや感謝の気持ちを書いただけました。ありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の猛威により、今まで当たり前に行っていた行事や授業ができなくなりました。常に、感染症予防を考えながらの生活にならざるを得ません。

そのような中でも子どもたちは、熱心に学習を進めたり、友だちに優しく接していたり、マラソンで寒い中頑張っている姿を見て、我々教員も力が入ります。

学校では来年度に向けて、今年度の反省を行い、方針を決めていく時期に入っていきます。本アンケート結果やご意見を参考にさせていただき、保護者・地域に信頼される学校を目指して、来年度の取り組みを考えていきます。ご協力ありがとうございました。